

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

災害発生情報 No.79

2015. 5. 21
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

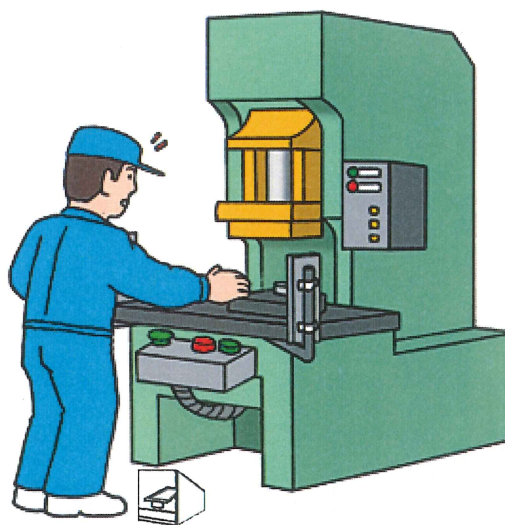
【はさまれ災害】

業種	金属製品製造業	経験	2か月	年齢	47歳	男女	男性
発生月	—————	発生時刻	10時42分				
発生状況	プレス機械にて作業中、フットペダルを固定せずに作業していたところ、足元がずれてしまいバランスを崩した際に踏み込んだ結果、左手がプレス機械にはさまれた。						
負傷の程度／部位	左手第2・3・4指骨折		休業見込	2か月			

◆ コメント

「プレス災害は一昔前の災害」と思う方もいるでしょう。しかし、プレス災害は依然として発生しています。筑西監督署管内でも毎年必ず発生し、ここ数年は5件以下と減少傾向がありましたが、平成26年に至っては7人の方が被災しています。足踏み式スイッチ使用時に光線を無効化した災害が大半ですが、中には故障を原因とする災害、光線を避けて手を入れる災害も発生しています。

プレスブレーキなど材料を保持する関係上、光線式安全装置が使用できない場合はレーザー式安全装置を使用しましょう。最近ではLED式も販売されており、レーザータイプよりも導入費用を抑えることが可能です。



◆ 再発防止のアドバイス

- 1 プレス機械にある切替キースイッチは、使用したら直ぐに取り外し、キーはプレス作業主任者が管理しましょう。作業者が安全装置を無効化することを防げます。
- 2 長尺物を加工する場合、光線を遮らない位置に材料保持台を置き、光線を生かしたまま作業しましょう。光線の検出幅は5cm以下とする必要がありますが、材料に5cmの厚みがない限り、金型の高さや材料保持台の高さを調節すれば使用可能です。

【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事故ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。